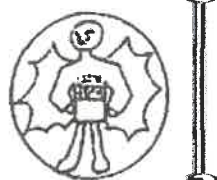


“シャキッ”と新聞



第136号

2019.7
西中PTA執行部 発行
責任者 松岡 修一

早いもので、1学期も残りわずかとなりました。5月に今年度のPTA活動がスタートして以来、先生方や保護者の皆さま、地域の皆さまとお話をする機会にも恵まれ、日々勉強をさせていただき、改めて“コミュニケーション”の大切さと難しさ、そして楽しさを実感しております。

さて、まもなく夏休みを迎えますが、皆さまにもお馴染みの稲野小学校地区自治協議会主催『納涼ふれあい夏祭り』に向けて、PTAでは着々と準備を進めております。今年度は、PTA会員の皆様より出店にご協力いただける方を募集しております。お祭りを一緒に盛り上げていただける方は、別途配布しております「納涼ふれあい夏祭り」のご案内をご覧ください、メールでのご連絡をお待ちしております。

mail address : pta-westjhs@yahoo.co.jp

納涼ふれあい夏祭り

8/3(土)・4(日) 17時～21時
稲野小学校運動場にて

<出店内容>

- ・焼きそば
- ・たこ焼き
- ・フランクフルト
- ・生ビール
- ・冷やしパイン



<会場見取り図>

今年度もお祭りの売り上げの一部で、体育祭では子どもたちにスポーツ飲料を配布する予定です。
皆さまのご来場を、お待ちしております！

・・・中学校給食物資調達検討委員会にて・・・

6月13日(木)伊丹市立中学校給食センターの2階にある研修室にて、中学校給食物資調達検討委員会が行われました。伊丹市PTA連合会の派遣委員として委員会に出席しましたが、2年前に出来たばかりのセンターは、思っていたより広く、とてもきれいで感動しました。委員会では、給食の献立について、栄養面や安全性について以外にも、地産地消の考え等様々な角度から検討され、子どもたちが安心して口にできるものを、毎日作っていただいていることを知り、保護者として嬉しく思いました。委員会の中で、デザートを試食をさせていただきました。5種類のデザートの中から好評だった一つが、2学期に実際の給食の献立として出されるそうです。子どもの視点で選んでくださいと言われましたが、どれも見た目にも美味しそうで、甲乙つけがたいものでした。どのデザートが実際のメニューに選ばれるのかは、乞うご期待！だそうです。

お願い

西中PTAは、会員の皆さまよりPTA会費(年2000円)をいただいで活動しています。会費は、学校の校納金とともに銀行引き落としにて徴収させていただいております。残高不足の場合には、再度引き落としをさせていただきます。二度の引き落としでも残高不足の際には、別途現金徴収をさせていただくこととなり、事務手続きが発生します。スムーズな事務処理が出来ますよう、会員の皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

第二回企画委員会

6月14日(金)企画委員会にて、稲野小学校地区自治協議会「納涼ふれあい夏祭り」への出店内容を決定しました。今年度は委員数が例年より少ない点と、仕事をされている保護者が多い点とを考慮して、出店内容を決定しました。

<今後の予定>

7/24(水) 伊同教全体研修会

東りいたみホール6F

8/3(土)4(日) 納涼ふれあい夏祭り

稲野小学校

8/8(木) 保護者と教師のための講演会

アイフォニックホール

8/23(金)24(土) 日本PTA全国研究大会

兵庫県内各所

会長のひとりごと

「爪痕」

これはある保護者から伺ったある年のある学校での出来事で、お子さん本人の回想録です。『ある学校の外部イベントの時、私は移動中に、何か悪戯(いたずら)をしようか?と冗談で友達と会話をしていました。冗談で言っていただけなので、当然「悪戯」はしていませんが、後日学校に通報があり、実際に「悪戯」が行われたとの事で、私を含め数名が呼び出されました。集められた生徒に先生が事情を聞いていくのですが、私が移動中にした会話での発言を、同級生が先生に話したことにより、先生から犯人のように尋問を受けました。もちろん強く否定しました。後日、私のことを話したその同級生が、「悪戯」をした当事者であることが判りました。先生から、行き過ぎた問い詰め方に関して謝罪を頂きましたが、心には届きませんでした。先生は「あの子たちは正直に認めたからえらい!」と、私のことをまだ疑っているように接してきたからです。本当なら私を陥れた同級生にも、謝罪を促すように指導をしてほしいくらいなのに、心底は信じてもらえていないと感じ、やりきれない虚しさが自分を襲いました。親からは、冗談でも口に出して言うてしまうから、疑われてしまうんだと言われ、自らがまいた種とは言え、自分でもまさかの結末でした。今でもそのことが起因したかどうかは判りませんが、大人や他人、社会を信用する事が出来なくなりました。先生が守りたかったものは何なのか?なぜ、同級生のことばだけを信じたのか?同級生だった友人はなぜ「悪戯」をし、私に罪をかぶせようとしたのか?私が冗談を言わなければ、悪戯をしなかったのか?時々当時の事がよみがえり怖くなります。』

みなさん、この内容を聞いて私がやるせない気持ちになったのは言うまでもありません。犯人を捜し突き出すのが目的ではなく、子どもたちにどういう事がいけないことなのかを、全員に聞かせ諭すことが、当時なぜ出来なかったのか?と、考えてしまいます。

話してくれた保護者の方も、お話を伺った私も、ここで「誰が悪い」と追及しようと思っているわけではありません。残念ながら誰かが傷ついた「史実」が存在するのです。どうしても昭和世代の人間には、あの学園ドラマの先生のように、生徒たちを心底信じる事があっても良いのではないかと・・・と思ってしまうのは間違いなのでしょう・・・?

次回の“シャキッ”とする週間は、9/9(月)～9/13(金)です。

朝のあいさつ運動は8:10頃～8:30頃まで正門付近で行います。夏休みを終え、また一回り成長をした子どもたちが、元気に登校していることでしょう! ぜひ皆様ご参加ください。